SANGETSU

WINDOW COLLECTION

MECHANIC VOL.6

プリーツスクリーン

KW型メカ　ツインタイプ

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目　次

■ 安全上のご注意……1
■ 製品全体図及び部品名称……3
■ 製品の取付け/取外し方法……4
■ 操作のしかた……6
■ お手入れのしかた……9

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

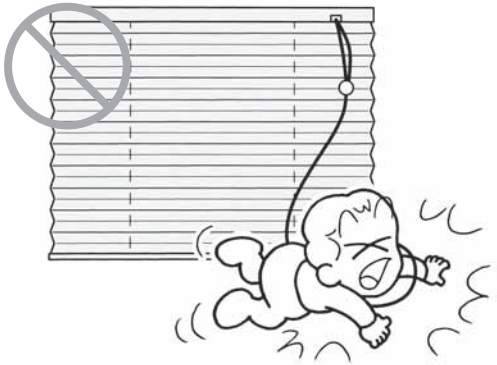
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

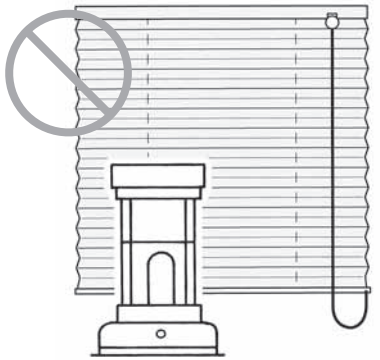
ご使用になる前にお読みください

警告

■お子様をチェーンやコードで遊ばせないでください。チェーンやコードが首や体に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。



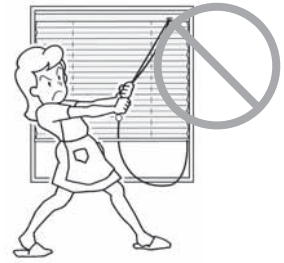
■火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



安全上のご注意（必ずお守りください）

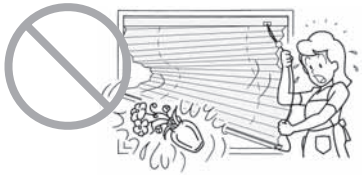
⚠ 注意

■製品にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。



■この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

■蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品機能の低下、生地の変形、または不具合発生の原因となります。

■水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミ等が発生する場合があります。

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

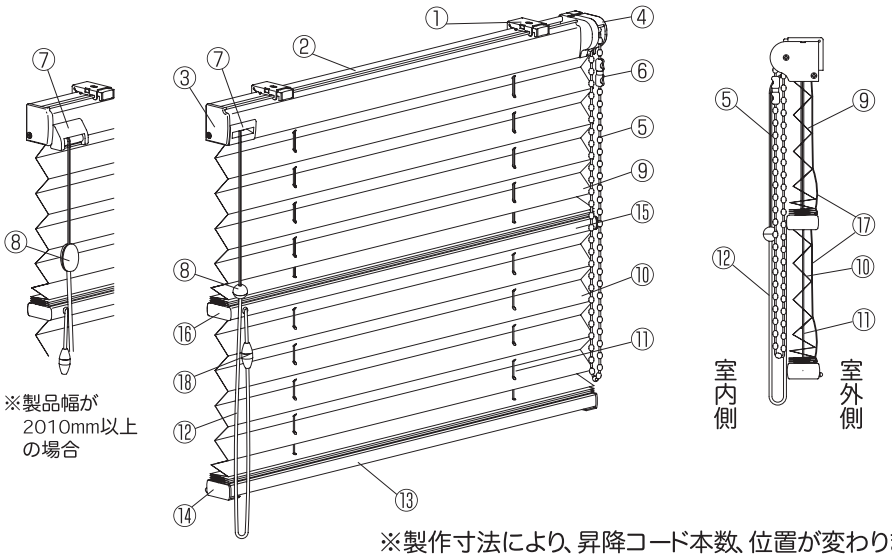
■製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

⚠ 注意

■付属のブラケット取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

■本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

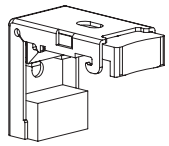
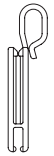
各部の名称



※製作寸法により、昇降コード本数、位置が変わります。

① 取付けブラケット	⑦ 切替え用コード出口	⑬ ボトムレール
② ヘッドボックス	⑧ コードイコライザー	⑭ ボトムキャップ
③ ボックスキャップ	⑨ 上部生地	⑮ 中間レール
④ 全体昇降用操作部	⑩ 下部生地	⑯ 中間キャップ
⑤ 操作チェーン	⑪ 昇降コード	⑰ ピッチ保持コード
⑥ セーフティーコネクター	⑫ 操作コード	⑱ セーフティジョイント

付属部品

部品名称 ＼ 製品幅（mm）	取付けブラケット	取付けビス	コードクリップ
			
～1500	2 個	2 本	1 個
1510～2500	3 個	3 本	
2510～2900	4 個	4 本	

※製品発注時にレールビスを頼まれた場合は、取付けブラケットと同数分同梱されています。

※コードクリップについて

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。
小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。
詳しくは、コードクリップに添付している「コードクリップの使い方」をご確認ください。

製品の取付けかた

必要な工具　・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2）取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。

・木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。

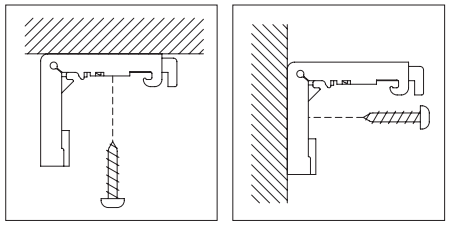
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

3）取付けブラケットの取付け

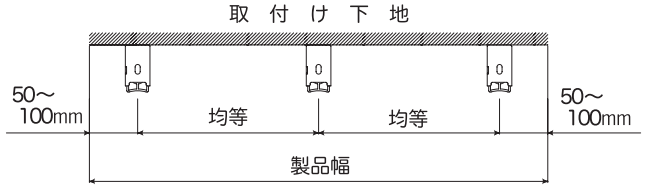
取付けブラケットの取付けかたには、天井付けと正面付けがあります。

①取付けブラケットは製品の左右からそれぞれ50〜100mmの間にくるように位置を決めてください（サインペン等で印をつけます）。取付けブラケットが3個以上（幅1510mm以上）の場合は取付けブラケット間隔が均等になるように位置を決めてください。

■窓枠内に取付ける場合（天井付け）　■窓枠を覆う場合（正面付け）



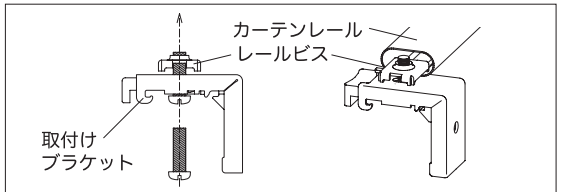
例）取付けブラケット**3**個の場合



※）取付けブラケットの位置はサインペン等で下地に印を付けておくと分かりやすいです。

②カーテンレールに取付ける場合は専用のレールビスを使用して取付けてください。

※製品発注時にレールビスを頼まれた場合は、「レールビス取付説明書」が同梱されております。この「レールビス取付説明書」にしたがって取付けてください。



カーテンレールのランナーを全て抜き取り、レールビスを上図のように取付けブラケットに組み込み、カーテンレール端部よりスライドさせ位置を決め、ドライバーで固定してください。

③取付けブラケットを取付けビスでしっかりと固定してください。

④取付けブラケットが確実に固定されていることを確認してください。

製品の取付けかた

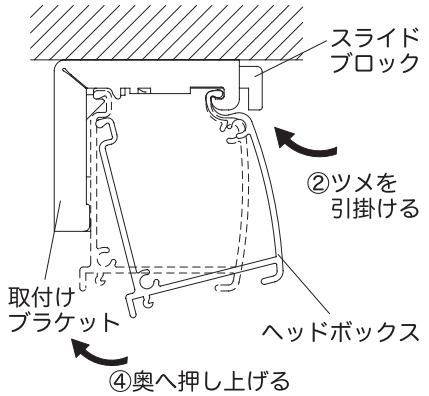
4）製品の取付け

①「操作のしかた（P7）」に従い、製品全体を上げ、生地を完全にたたみ込みます。

②製品を両手で持ち、既に取付けた個々の取付けブラケットの手前のツメにヘッドボックス手前のツメを引掛けてください。

③ヘッドボックスを取付けブラケットのツメに引掛けた状態で左右の位置決めをします。

④取付け位置が決まりましたら、取付けブラケット（スライドブロック）のツメがかかるまでヘッドボックスの奥を押し上げてください。（ツメがかかりますと、パチンと音がなります。）



⑤ヘッドボックスが取付けブラケットに確実にとまっていることを確認してください。

注）製品本体を取付ける際に、ピッチ保持コードを取付けブラケットにはさまないように注意してください。

⚠ 注意

製品本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

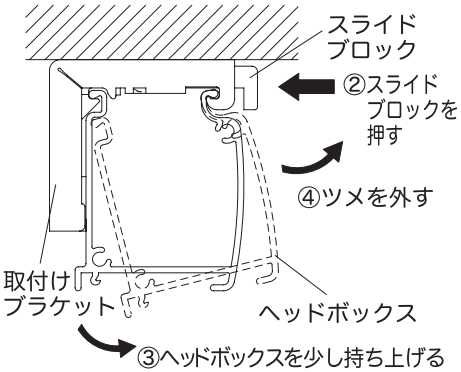
製品の取外しかた

①「操作のしかた（P7）」に従い、製品全体を上げ、生地を完全にたたみ込みます。

②製品を手で支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押します。スライドブロックを押すと、ヘッドボックス後側のロックが解除され、ヘッドボックスが外れます。

③②の状態から、ヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を取外してください。

④ヘッドボックスの手前のツメを、取付けブラケットの手前のツメから外してください。



注）スライドブロックを操作する時は製品が落下しないように、必ず製品を手で支えてから操作してください。

操作のしかた

1 ）製品全体の昇降

◆製品全体を降ろす時

①中間レールが一番上にあることを確認します。

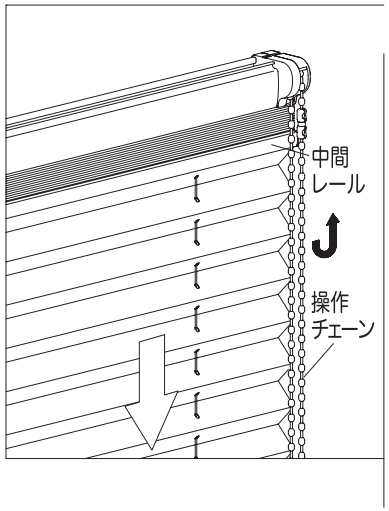
②中間レールが一番上にない場合は、中間レールを一番上にします。8Pの「◆中間レールを上げる時」の方法にしたがって、操作してください。

③操作チェーンの手前（室内側）を少し下に引き、手を緩めると生地（製品全体）がゆっくり下がります。

④途中で止めたい場合は、再び操作チェーンの手前（室内側）を少し引き、手を離すとその位置で生地（製品全体）が止まります。

注）製品全体を降ろす時は、必ず中間レールが一番上にある状態で操作してください。

注）操作の際には、操作コードと操作チェーンがからまないように注意してください。



※製品全体を降ろしている途中で、ボトムレールにもの（障害物）が当たるとその位置で製品は止まります。一度製品全体を上げて、製品の下にあるもの（障害物）を取り除いてから、もう一度操作してください。

⚠ 注意

製品全体を降ろす際は、製品の降ろす位置にものがないことを確認してから操作してください。製品を降ろしている途中で止まってしまった際に、操作チェーンを無理に引っぱらないでください。故障の原因となります。

操作のしかた

◆製品全体を上げる時

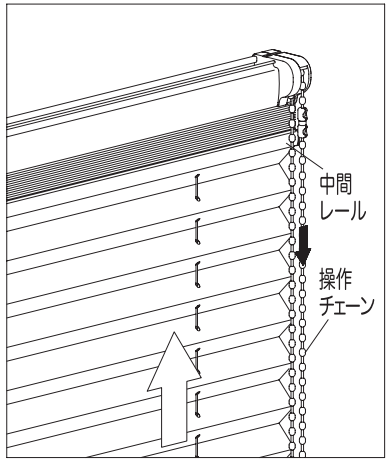
①中間レールが一番上にあることを確認します。

②中間レールが一番上にない場合は、中間レールを一番上にします。8Pの「◆中間レールを上げる時」の方法にしたがって、操作してください。

③操作チェーンの手前（室内側）を下に引くと、生地（製品全体）が上がります。手を離すとその位置で生地（製品全体）が止まります。

注）製品全体を上げる時は、必ず中間レールが一番上にある状態で操作してください。

注）操作の際には、操作コードと操作チェーンがからまないように注意してください。



⚠ 注意

製品全体を上げる時は、必ず上部生地が上にたたみ込まれている状態（中間レールが一番上にある状態）で操作してください。上部生地が上にたたみ込まれていない状態で、製品全体を上げると、上部生地より昇降コードが飛び出したり、故障の原因となります。

2 ）生地の切替え（中間レールの昇降）

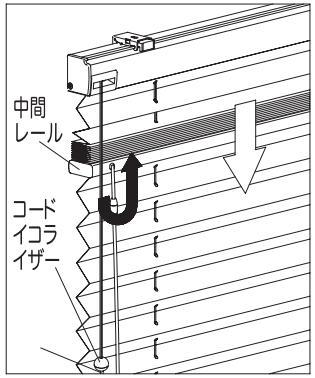
生地の切替えは、中間レールの昇降操作によって行ないます。

生地の切替え操作のストッパー機構は、操作コード（またはコードイコライザー）を引くごとに、ストップと解除が繰り返す機構になっています。

◆中間レールを降ろす時（上部生地を降ろす時）

操作コード（またはコードイコライザー）を下に引き、手を緩めると中間レールが下がります。途中で止めたい場合は、再び操作コード（またはコードイコライザー）を少し引き、手を離すとその位置で中間レールが止まります。

注）操作の際には、操作コードと操作チェーンがからまないように注意してください。



操作のしかた

◆中間レールを上げる時（上部生地を上げる時）

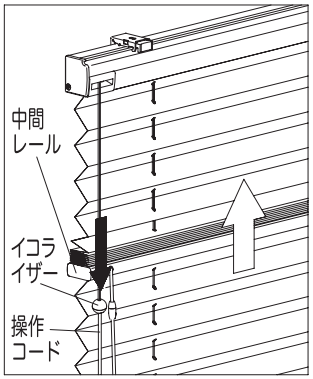
①中間レールが一番下にある場合

操作コード（またはイコライザー）を引くと、中間レールが上がり、手を離すとその位置で中間レールが止まります。

②中間レールが途中にある場合

操作コード（またはイコライザー）を少し下に引き、手を一旦緩めてから、再び操作コード（またはイコライザー）を引くと、中間レールが上がります。手を離すとその位置で中間レールが止まります。

注）操作の際には、操作コードと操作チェーンがからまないように注意してください。

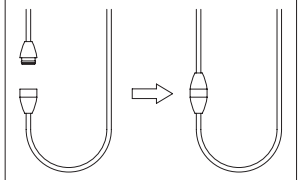


⚠ 注意

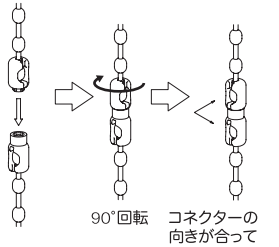
生地の切替え操作は必ず操作コードを持って、操作をしてください。操作コードから手を離しますと、中間レールが勢いよく下降し、けがや故障の原因となります。中間レールが止まるまで、絶対に操作コードから手を離さないでください。

※操作コード・操作チェーンには、製品を安全で快適にご使用いただくため「セーフティージョイント」「セーフティーコネクター」を組込んでいます。これは、操作コード・操作チェーンに通常操作以上の負荷がかかった場合などにそのコード・チェーンを分割させる仕組みの部品です。操作中に外れてしまった場合は、再びはめ直してご使用ください。尚、セーフティーコネクターは分割しやすくなる場合がありますので、交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

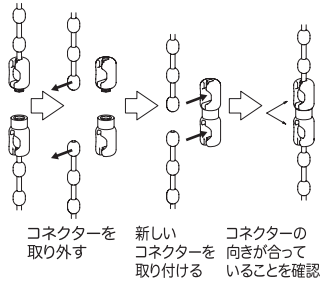
セーフティージョイントを
はめ直す場合



セーフティーコネクターを
はめ直す場合



セーフティーコネクターを
交換する場合



お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取り払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。

こんなときは

症　状	原　因	処　置
製品が途中で止まってしまう。	・ボトムレールにもの（障害物）が当たっている。	・製品の下のもの（障害物）を取り除いてから、もう一度操作してください。
生地が下まで降りてこない。	・生地のバネ性が強い。	・製品を一番下まで降ろした状態で、手でボトムレールを引っぱってください。
上部生地の昇降コードがはみ出ている。	・上部生地が下に降りたまま全体をたたみ上げた。	・操作チェーンを引き、製品全体を下げてください。 ・この取扱説明書にしたがって、上部生地をたたみ上げてください。 ・この取扱説明書にしたがって、全体をたたみ上げてください。
製品が落ちた。	・取付けビスが抜けた。 ・取付けブラケットが破損している。 ・製品が取付けブラケットに確実に固定されていなかった。	・取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。 ・取付けブラケットを交換してください。 ・この取扱説明書にしたがって取付け直してください。